

サケ稚魚放流情報 No.1



令和5年2月14日
 岩手県水産技術センター
 漁業資源部
 TEL: 0193-26-7915
 FAX: 0193-26-7920

湾内の表面水温は6～8℃台で、県南部から中部にかけて平年並、県北部で低めとなっています。親潮の本県沿岸域への波及が弱く、黒潮の勢力が強いことから、水温が低下しにくい傾向にあります。

動物プランクトン沈殿量が少ない時期ですが、越喜来湾では平年よりも多い傾向、唐丹湾以北では平年よりも少ない傾向にあります。

前年は3月末にかけて沿岸親潮水の流入により、本県沿岸域において急激な水温低下が発生しましたが、今年の表面水温は比較的安定して推移する見込みです。3月上旬～下旬に動物プランクトン量が増加傾向となることから、今後の海況に注視しつつ、同月以降の放流に向けて、2g以上の稚魚^{*1}の適切な飼育管理に努めてください。

1 表面水温 (℃)

	野田湾 ^{*2}	宮古湾	山田湾	唐丹湾	越喜来湾	大船渡湾
観測値(2/6, 7)	7.1	6.8	7.9	7.8	8.1	7.2
平年 ^{*3}	9.1	7.5	7.5	8.3	8.3	7.5
前年同期 ^{*4}	8.5	-	-	-	-	-

各湾の表面水温は6～8℃台で、宮古湾、山田湾、唐丹湾、越喜来湾、大船渡湾で平年並、野田湾で平年より2℃低め、前年同期より1℃低めとなっています。現在、親潮の本県沿岸域への波及が弱く、北上する黒潮の勢力が強いことから、例年よりも水温が低下しにくい傾向にあると予測されます。

2 動物プランクトン沈殿量 (ノルパックネット鉛直20m曳き、mL/m³)

	野田湾 ^{*2}	宮古湾	山田湾	唐丹湾	越喜来湾	大船渡湾
観測値(2/6, 7)	0.03	0.03	0.07	0.03	0.33	0.33
平年 ^{*3}	0.40	0.16	0.12	0.13	0.17	0.38
前年同期 ^{*4}	0.13	-	-	-	-	-

全体的に沈殿量が少ない時期ですが、越喜来湾では平年よりも多い傾向、唐丹湾以北では平年よりも少ない傾向があります。

3 その他

- (1) 北上丸による沿岸海洋観測・動物プランクトン発生状況調査(5湾)及び県北広域振興局水産部による野田湾の観測調査(図1赤枠)によるものです。
- (2) いわて大漁ナビ(<https://www.suigi.pref.iwate.jp/>)の定地水温情報・衛星画像や、当センター発行の海況情報等も参考にしてください。

- ※1 これまでの本県の放流実績から、放流の重心を3月下旬に設定し2.0g以上のサイズで放した年級の回帰率が高い。
- ※2 野田湾は2月10日に観測・調査を実施、動物プランクトン沈殿量はネットを2回曳いた。
- ※3 平年は過去18～20年間の同期の平均値。野田湾はH17、H19の北上丸及び県北水産部の調査結果の平均値。
- ※4 前年同期の北上丸による調査は欠測。

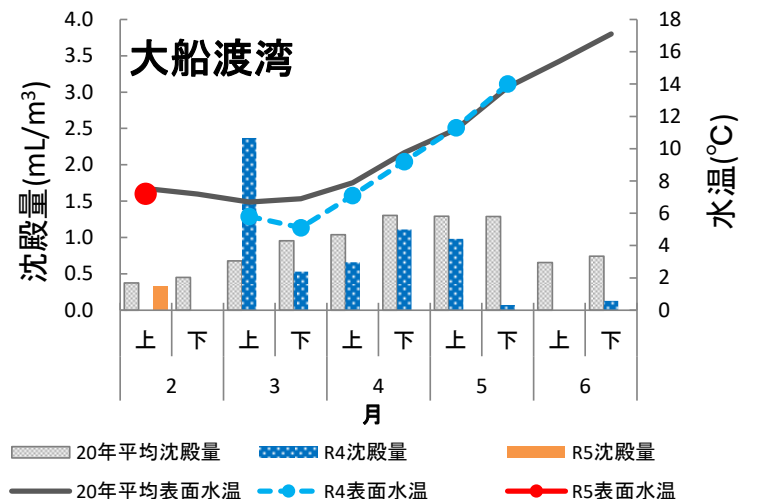
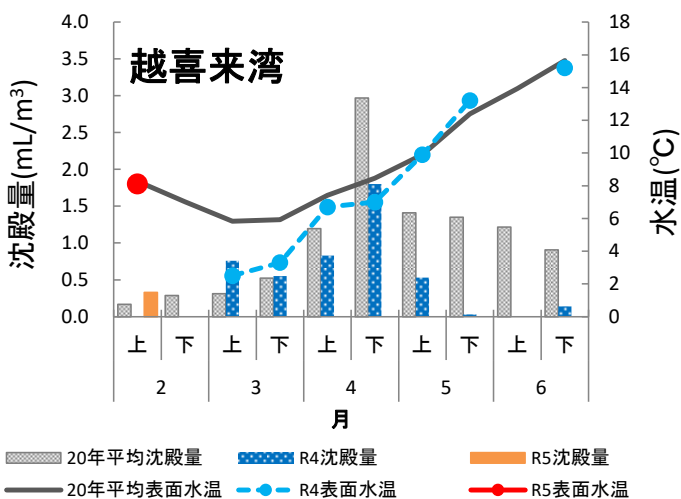
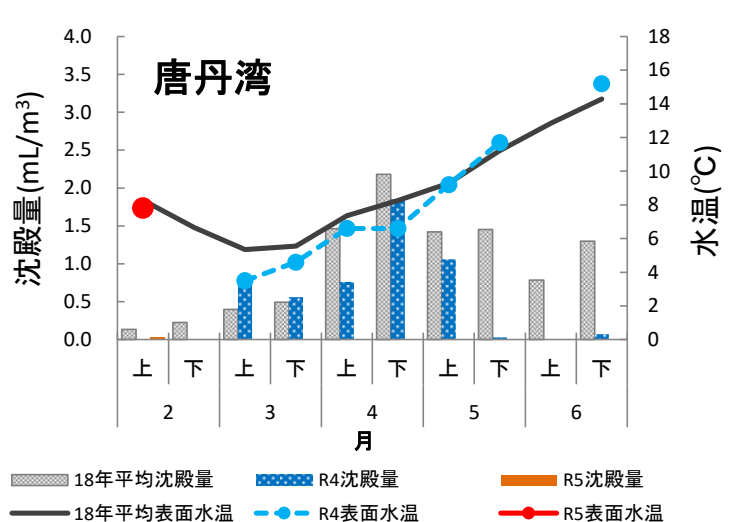
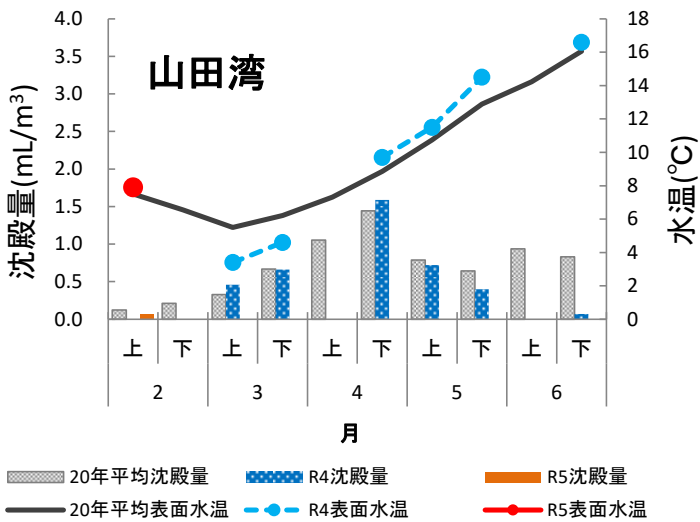
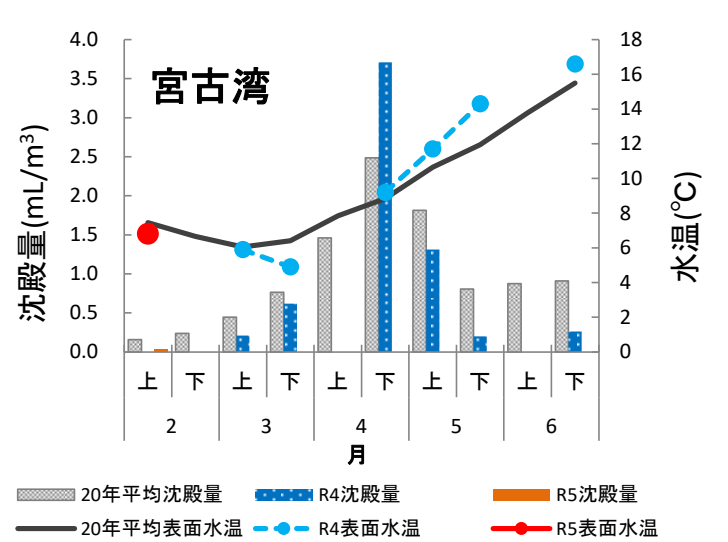
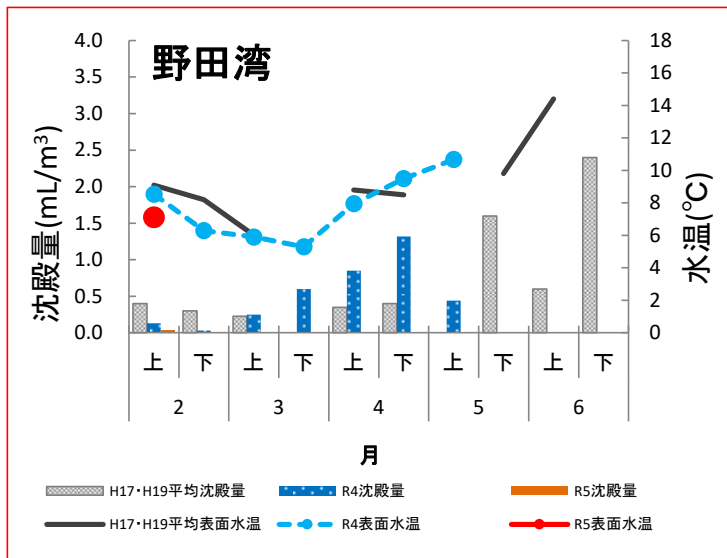


図1 6湾における動物プランクトン沈殿量及び表面水温の季節変化

※水温値が欠落している箇所は欠測であり、併せて同期の沈殿量データも欠落している。